

環境経営活動レポート

【レポートの対象期間:2023年1月～2023年12月】

株式会社アミックカーライフ

《ご挨拶》

株式会社アミックカーライフは1997年創業以来、自動車の販売・整備関連事業を主な業務として歩んでまいりました。

自動車を通し地域社会の一員として信頼される企業を目指しております。特に自動車は環境に与える影響が大きい事を受け止め、次項の環境経営方針を基に活動を展開し、地球環境に優しい企業として環境への配慮も企業活動の大きな役割として捉え全員一丸となって取り組みます。

以下、「環境経営活動レポート」としての取り組みをまとめましたので、私たちの取り組みをご高覧の上、ご指導、ご指摘をいただき次の環境経営活動に生かして生きたいと存じます。

株式会社アミックカーライフ

代表取締役

入澤 克

《目次》

1. 環境経営方針	P-1
2. 事業活動の規模	P-2
3. EA21推進体制	P-3
4. 環境経営目標とその実績	P-4
5. 環境経営活動の取組計画と評価	P-5
6. 代表者による全体の評価と見直し	P-6
7. 環境関連法規制の遵守	P-6

環 境 経 営 方 針

当社は、自動車整備・販売の事業を通じ地球環境保全に配慮して行動することを経営の重要課題の一つとしてとらえ、次の行動指針を定めます。

1. 事業活動に伴う環境負荷を低減し、環境への影響を最小限にとどめるため、次の取組みを行います。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減
 - ② 廃棄物排出量の削減
 - ③ 水使用量の削減
 - ④ 化学物質使用量の削減
 - ⑤ グリーン購入の促進
 - ⑥ エコ整備の促進
2. 環境関連法規等を遵守します。
3. 環境経営方針は公表し、全社員に周知するとともに、社員の環境に関する意識の向上を図ります。

制定 2014年 4月 1日

改定 2019年 4月 1日

株式会社 アミックカーライフ

代表取締役 入澤 克

2. 事業活動の規模

1. 事業所及び代表者名

株式会社アミックカーライフ
代表取締役社長 入澤 克

2. 所在地

〒371-0013 群馬県前橋市西片貝町 2 - 1 0 5

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役 入澤 克
環境管理責任者 : 取締役 工場長 清水 芳次
担当 : 同上
TEL : 027-224-1571
FAX : 027-224-1575

4. 対象範囲

株式会社アミックカーライフ 全組織及び全活動

5. 事業の内容

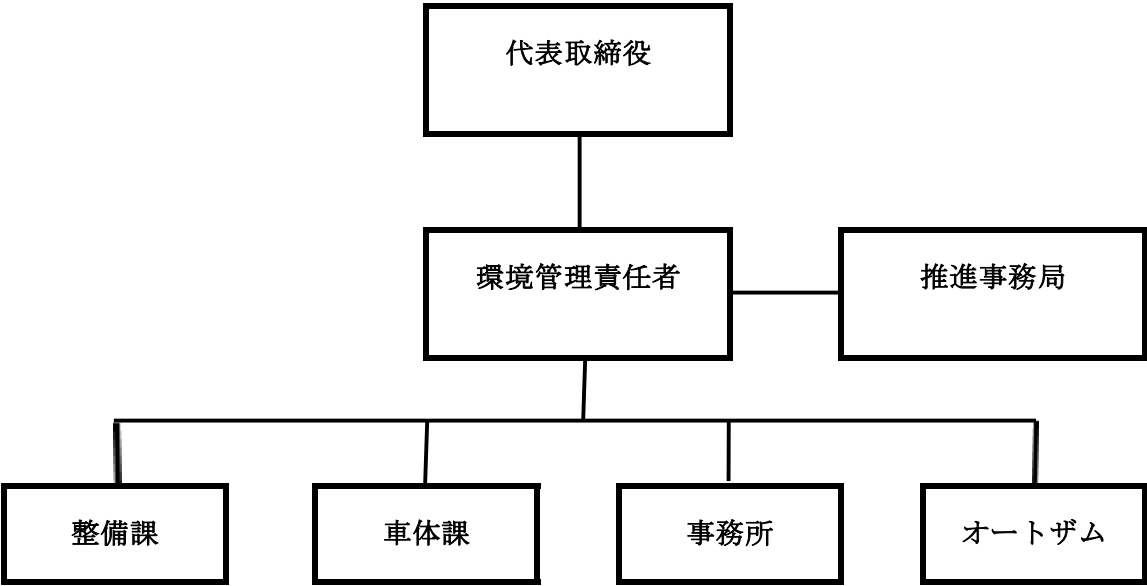
自動車整備業 自動車販売業 損害保険代理業

6. 事業規模

活動規模	単位	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
売上高	万円	56,420	63,400	60,230	60,600	59,100
従業員数	人	26	26	25	25	25
延べ床面積	㎡	1,845	1,845	1,845	1,845	1,845

活動規模	単位	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
売上高	万円	56,900	63,190	68,590		
従業員数	人	26	26	26		
延べ床面積	㎡	1,845	1,845	1,845	1,845	1,845

エコアクション21 推進組織図



職名	役割
代表取締役	① 環境経営方針の策定 ② 環境管理責任者の任命 ③ 全体の評価と見直し ④ 必要資源の準備
環境管理責任者	① システムの構築・運用 ② 代表者への報告 ③ 事務局員、各担当者の任命 ④ 環境会議の開催
推進事務局	① 環境管理責任者の補佐 ② 文書・記録類の管理
各部門担当者	① 活動実施 ② 記録と報告

OK X

4. 環境経営目標とその実績

当社に於ける2016/1/1～2016/12/31の環境負荷実績を把握し、新たに2021年を基準値にし2026年迄の目標を下記の通り定め活動を開始しました。

1. 環境経営目標とその実績

※購入電力(東京電力パワーグリッド(株))の排出係数は、0.435〔平成30年度実績・令和1年8月1日公表〕を使用しています。

環境経営目標	(基準値)	基準値			今年度目標と実績				中長期の目標 (年後)
	2016年	2021年	2019年	2022年	2023年				2026年
	実績	実績	実績	実績	目標	目標値	実績	目標の達成状況	目標
①売上高100万円当たりの二酸化炭素排出量の削減(kg-CO ₂ /百万円)	254.59	183.89	208.23	124.64	2021年実績に対して2%削減	180.21	121.28	34.04%削減	2021年実績に対して5%削減
②売上高100万円当たりの廃棄物排出量の削減(kg/百万円)	2014年実績 51.0	67.980	41.998	45.045	2021年実績に対して2%削減	66.620	45.060	33.71%削減	2021年実績に対して5%削減
③水資源投入量の削減(m ³)	1543	1040.0	1890.0	1042.0	2021年実績に対して2%削減	1019.2	1046.0	0.58%増加	2021年実績に対して5%削減
④化学物質取扱及び管理の徹底	取扱量の把握・管理の徹底	取扱量の把握・管理の徹底	取扱量の把握・管理の徹底	取扱量の把握・管理の徹底	取扱量の把握・管理の徹底	取扱量の把握・管理の徹底	取扱量の把握・管理の徹底	取扱量の把握ができた	取扱量の把握・管理の徹底
⑤本業に関する目標	活動の推進	活動の推進	活動の推進	活動の推進	活動の推進	活動の推進	活動の推進	リサイクルパーツの活用、エコパーツの活用	活動の推進

※ 2021年を基準値とし毎年の目標を1%削減で2026年5%削減目標とする。

2. 主な環境負荷実績

環境への負荷	2015年		2016年	2017年	2018年	2019年
①二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	148,005.14		143,642.94	143,251.56	133,941.44	126,185.47
②廃棄物排出量(kg)	25,860.00		26,990.00	19,060.00	26,205.00	25,451.00
③水資源投入量(m ³)	1,499		1,543	1,455	1,623	1,890

環境への負荷	2020年		2021年	2022年	2023年	
①二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	112,492.15		104,636.90	78,761.33	83,190.00	
②廃棄物排出量(kg)	28,944.00		38,681.00	28,464.00	30,907.00	
③水資源投入量(m ³)	2,108		1,040	1,042	1,046	

ok

5. 環境経営活動計画の取組みと評価

環境経営活動計画	環境経営活動計画の取組結果とその評価
1. 二酸化炭素排出量の削減 ①空調温度適正化・表示 ②照明不要時のOFFの推進 ③エアコン清掃の実施 ④エコドライブ推進 ⑤社用車の点検・整備	昨年同様、デマンド管理を利用し、使用電力削減の実施。左記の内容を徹底。 急発進、急停車をしない余裕を持つての運転で燃料の削減。改善の見込みあり。 毎月の代車の点検・整備の徹底及び燃料の管理。日頃より意識付けが出来ている。 次年度の取組内容 マンネリ化しないよう具体的に内容を発表し、周知徹底を図り意識を高める。LED照明の推進。
2. 廃棄物排出量の削減 ①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場の整備 ③産廃業者との契約書の確認 ④裏紙使用ルールの徹底	現状把握とルールの徹底 取引業者との契約及びマニフェスト発行 分別ルールの徹底で 廃棄物置き場の整理。消耗品の削減。ゴミ等出さない工夫も必要。ペーパーレスにも努める。 次年度の取組内容 整理整頓をし無駄な物は置かないよう徹底。毎月第一月曜日全体清掃の実施。廃棄物を出さない工夫を
3. 水資源投入量の削減 ①毎月のメータの確認(漏水防止) ②節水表示(手洗い場・トイレ) ③トイレの節水	まだ水の出っぱしが時に見受けられる。 次年度の取組内容 更なる節水をする。水の出っぱなしに注意する。手洗いの時でも一度蛇口を止める工夫も。
4. グリーン購入比率の向上 ①購入品の調査 ②グリーン購入品の選定 ③グリーン購入品の決定	事務用品のグリーン商品の購入実施はしています。使用品の内容確認を定期的にしていく。 次年度の取組内容 引き続き購入品リストによるグリーン商品購入の徹底
5. 化学物質取扱及び管理の徹底 ①取扱商品の把握 ②購入量の把握 ③取扱商品一覧表の作成	SDSのCD-Rの入手 PRTTR制度の化学物質の把握。 在庫管理を徹底し無駄のないように購入はしている。 次年度の取組内容 化学物質取扱量、継続的把握。最小限の更なる購入に務める。
6. 本業に関する目標 ①リサイクルパーツの活用	リサイクルパーツの活用はしている。中古部品及び再生品（リビルト）の提案をしお客様第一に整備をしている。 次年度の取組内容 お客様へ数種類の整備を提案をし問題のないように。環境にやさしい整備に務める。

6. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
フロン排出抑制法	廃棄時のフロン回収・ 業務用エアコンの点検実施	遵法
道路運送車両法	自動車の定期点検	遵法
振動規制法	特定施設の届出	遵法
騒音規制法	特定施設の届出	遵法
廃棄物処理法	委託基準（契約書・許可証）、 マニフェスト交付・保存及び 交付状況報告	遵法
PRTR法	SDSの管理、使用量の把握	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2024年1月28日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体の評価と見直し

2023年のエコアクション21活動に於いて、カーボンニュートラルやゼロエミッションを目指す企業が増えており、さらには環境目標を達成するだけでなく、社会的責任や持続可能性にも貢献することが求められてきていると感じます。

今回の実績ですが、二酸化炭素の排出量では目標値に対して34%の削減、廃棄物排出量では33.7%の削減を達成しています。しかしながら水資源投入量では0.58%の増加となりました。売上増加の要因はありましたが未達となりました。

今後もエコアクション21を活用して、目標達成に向けた取り組みの進捗を管理し、PDCAサイクルを回して環境活動に取り組んでまいります。